ASUS®

A55BM-A/USB3

Motherboard

J8511

初版 第 1 刷
2013年9月

Offer to Provide Source Code of Certain Software

This product contains copyrighted software that is licensed under the General Public License ("GPL"), under the Lesser General Public License Version ("LGPL") and/or other Free Open Source Software Licenses. Such software in this product is distributed without any warranty to the extent permitted by the applicable law. Copies of these licenses are included in this product.

Where the applicable license entitles you to the source code of such software and/or other additional data, you may obtain it for a period of three years after our last shipment of the product, either

(1) for free by downloading it from http://support.asus.com/download

or

(2) for the cost of reproduction and shipment, which is dependent on the preferred carrier and the location where you want to have it shipped to, by sending a request to:

ASUSTeK Computer Inc.

Legal Compliance Dept.

15 Li Te Rd.,

Beitou, Taipei 112

Taiwan

In your request please provide the name, model number and version, as stated in the About Box of the product for which you wish to obtain the corresponding source code and your contact details so that we can coordinate the terms and cost of shipment with you.

The source code will be distributed WITHOUT ANY WARRANTY and licensed under the same license as the corresponding binary/object code.

This offer is valid to anyone in receipt of this information.

ASUSTeK is eager to duly provide complete source code as required under various Free Open Source Software licenses. If however you encounter any problems in obtaining the full corresponding source code we would be much obliged if you give us a notification to the email address **gpl@asus.com**, stating the product and describing the problem (please DO NOT send large attachments such as source code archives, etc. to this email address).

もくじ

安全上のご注意 iv
このマニュアルについて v
パッケージの内容 vi
A55BM-A/USB3 仕様一覧 vi

Chapter1：　製品の概要

1.1　始める前に 1-1
1.2　マザーボードの概要 1-2
1.3　プロセッサー 1-4
1.4　システムメモリー 1-7
1.5　拡張スロット 1-10
1.6　ジャンパ 1-11
1.7　コネクター 1-13
1.8　ソフトウェア 1-21

Chapter2：　UEFI BIOS設定

2.1　UEFI BIOS更新 2-1
2.2　UEFI BIOS Utility 2-6
2.3　お気に入り 2-9
2.4　メインメニュー 2-10
2.5　Ai Tweakerメニュー 2-11
2.6　アドバンスドメニュー 2-12
2.7　モニターメニュー 2-12
2.8　ブートメニュー 2-13
2.9　ツールメニュー 2-14
2.10　終了メニュー 2-14

Chapter 3:　付録

ご注意 3-1
ASUSコンタクトインフォメーション 3-3

安全上のご注意

電気の取り扱い

- 本製品、周辺機器、ケーブルなどの取り付けや取り外しを行う際は、必ずコンピューターと周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。お客様の取り付け方法に問題があった場合の故障や破損に関して弊社は一切の責任を負いません。
- 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、回路のショート等の原因になる場合があります。
- ご使用の電源装置に電圧選択スイッチが付いている場合は、システムの損傷を防ぐために電源装置の電圧選択スイッチがご利用の地域の電圧と合致しているかをご確認ください。ご利用になる地域の電圧が不明な場合は、各地域の電力会社にお問い合わせください。
- 電源装置が故障した場合はご自分で修理・分解をせず、各メーカーや販売店にご相談ください。
- 光デジタルS/PDIFは、光デジタルコンポーネントで、クラス 1 レーザー製品に分類されています。（本機能の搭載・非搭載は製品仕様によって異なります）

不可視レーザー光です。ビームを直接見たり触れたりしないでください。

操作上の注意

- 作業を行う前に、本製品パッケージに付属のマニュアル及び取り付ける部品のマニュアルをすべて熟読してください。
- 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- 各コネクター及びスロット、ソケット、回路にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。電源回路のショート等の原因になります。
- 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- 本製品は安定した場所に設置してください。
- 本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。火災や感電、やけど、故障の原因となります。 修理は弊社修理センターまたは販売代理店にご依頼ください。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

ASUSは各国の環境法等を満たし、またリサイクル従事者の作業の安全を図るよう、環境保護に関する厳しい基準を設定しております。ASUSのリサイクルに対する姿勢は、多方面において環境保護に大きく貢献しています。

本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機のコンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。なお、廃棄の際は地域の条例等の指示に従ってください。

本機に装着されているボタン型電池には水銀が含まれています。通常ゴミとして廃棄しないでください。

このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けや構築の際に必要な情報が記してあります。

マニュアルの概要

本書は以下のChapter から構成されています。

- **Chapter 1：製品の概要**

  マザーボードの機能や各部位についての説明、及びコンポーネントの取り付けに必要なハードウェアのセットアップ手順。

- **Chapter 2：UEFI BIOS設定**

  UEFI BIOSの管理や設定について。

- **Chapter 3：付録**

  製品の規格や海外の法令について。

詳細情報

1. **ASUSオフィシャルサイト(http://www.asus.com/)**

   多言語に対応した弊社ウェブページで、製品のアップデート情報やサポート情報をご確認いただけます。

2. **追加ドキュメント**

   パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店･販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止していただくために、守っていただきたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

警告：作業人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

重要：作業を完了するために必要な指示や設定方法を記載しています。

メモ: 製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。

表記

太字	選択するメニューや項目を表示します。
斜字	文字やフレーズを強調する時に使います。
<Key>	< > で囲った文字は、キーボードのキーです。 例：<Enter>→Enter もしくはリターンキーを押してください。
<Key1+Key2+Key3>	度に 2 つ以上のキーを押す必要がある場合は(+)を使って示しています。 例：<Ctrl+Alt+Delete>

パッケージの内容

製品パッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

マザーボード	ASUS A55BM-A/USB3 マザーボード
ケーブル	SATA 3Gb/sケーブル×2
アクセサリー	I/Oシールド ×1
ディスク	サポートDVD
ドキュメント	ユーザーマニュアル

万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

A55BM-A/USB3 仕様一覧

対応プロセッサー	Socket FM2+ : AMD A-Series / Athlon™ プロセッサー 最大4コアまでサポート AMD Turbo Core Technology 3.0 サポート • **AMD Turbo Core Technology 3.0のサポートはプロセッサーによって異なります。** • **最新プロセッサー対応状況は、オフィシャルサイト (www.asus.com) のプロセッサーサポートリストをご覧ください。**
搭載チップセット	AMD A55 FCH (Hudson D2)
対応メモリー	メモリースロット×2:最大32GB DDR3 2133 / 1866 / 1600 / 1333 MHz、 Non-ECC Unbuffered メモリーサポート デュアルチャンネルメモリーアーキテクチャ AMD Memory Profile (AMP) サポート • **1つのスロットに16GBのメモリーモジュールを取り付けることで、最大32GBまでのメモリーをサポートします。** • **AMP対応メモリーの動作はメモリーコントローラーを内蔵するプロセッサーの物理的特性に依存します。** • **最新のQVL(推奨ベンダーリスト)は、オフィシャルサイト (www.asus.com) をご覧ください。** • **Windows® 32bit OSでは4GB以上のシステムメモリーを取り付けても、認識されるメモリーは4GB未満となります。Windows® 32bit OSを使用される場合は、4GB未満のシステムメモリー構成にすることをお勧めします。**
画面出力機能	A-Series APU 統合グラフィックス AMD Radeon™ HD 8000/7000 シリーズ - HDMI:最大解像度4096 x 2160* @24Hz / 1920 x 1200@60Hz - デュアルリンク対応DVI-D:最大解像度2560x1600@60Hz - VGA:最大解像度1920x1600@60Hz - 最大共有メモリー2GB - AMD Radeon™ デュアル・グラフィックスサポート • **HDMI出力の最大解像度 4096 x 2160 はSocket FM2+ APUのみサポートします。** • **AMD Radeon™ デュアル・グラフィックスをサポートするビデオカードについては、AMD オフィシャルサイトをご確認ください。** http://www.amd.com/us/products/technologies/dual-graphics/Pages/dual-graphics.aspx#3
拡張スロット	PCI Express 3.0 x16 スロット×1* PCI Express 2.0 x1 スロット×1 PCI スロット×1 * **PCI Express 3.0 (Gen3) の動作はプロセッサーに依存しています。対応プロセッサーを取り付け、対応スロットにPCI Express 3.0規格準拠の拡張カードを取り付けることで、PCI Express 3.0の性能を発揮することができます。**

(次項へ)

A55BM-A/USB3 仕様一覧

ストレージ機能	AMD A55 FCH: - SATA 3Gb/s コネクター×6 (RAID 0/1/10、JBODサポート)
LAN機能	Realtek® 8111G ギガビット・イーサネット・コントローラー
オーディオ機能	Realtek® ALC887-VD (8チャンネルHDオーディオコーデック) • **8チャンネルオーディオ出力の構成には、フロントパネルにHDオーディオモジュールが搭載されたケースをご使用ください。**
USB機能	ASMedia® ASM1042 コントローラー: - USB 3.0 ポート×2 (バックパネル)[ブルー] AMD A55 FCH: - USB 2.0 ポート×6 (2ポート拡張コネクター×2基、バックパネル×2ポート)
搭載機能	**ASUS 5X Protection** - DIGI+ VRM、DRAM Fuse、ESD Guards、High-Quality 5K-Hour Solid Capacitors、Stainless Steel Back I/O **DIGI+ VRM** - 3+1 フェーズ電源設計 **DRAM Fuse** - DRAM 過電流・短絡損傷保護 **ESD Guards** - コンポーネントの静電放電保護 **High-Quality 5K-Hour Solid Capacitors** - 105℃で5,000時間動作の高品質固体コンデンサー **Stainless Steel Back I/O** - 耐腐食コーティング仕様ステンレススチール製バックI/Oパネル **ASUS独自機能** - Network iControl* - USB 3.0 Boost - EPU - AI Suite III - AI Charger+ - Anti-Surge - Disc Unlocker **ASUS静音サーマルソリューション** - ファンレス設計 - Fan Xpert **ASUS EZ DIY** - UEFI BIOS EZ Mode - CrashFree BIOS 3 - EZ Flash 2 - MyLogo 2™ • **Network iControl はWindows® 7 以降のOSでご利用いただけます。**

(次項へ)

A55BM-A/USB3 仕様一覧

バックパネル インターフェース	PS/2キーボードポート×1 (パープル) PS/2マウスポート×1 (グリーン) HDMI 出力ポート× 1 DVI-D出力ポート× 1 VGA 出力ポート× 1 LAN ポート×1 (RJ-45タイプ) USB 2.0ポート×2 USB 3.0ポート×2 オーディオ I/O ポート×3 (8チャンネル対応)
基板上 インターフェース	USB 2.0コネクター×2:追加USB 2.0ポート4基に対応 (9ピン) SATA 3Gb/s コネクター×6 シリアルポートコネクター× 1 システムパネルコネクター× 1 ビープスピーカーコネクター×1 4ピン プロセッサーファンコネクター×1* デジタルオーディオコネクター× 1 4ピン ケースファンコネクター×1* フロントパネルオーディオコネクター× 1 24ピンATX電源コネクター× 1 4ピンATX 12V電源コネクター× 1 • **本製品は4ピンPWM制御タイプのファンのみをサポートしています。**
BIOS機能	64 Mb Flash ROM、UEFI AMI BIOS、PnP、DMI 2.0、WfM 2.0、SM BIOS 2.7、 ACPI 2.0a、多言語BIOS、ASUS EZ Flash 2、ASUS CrashFreen BIOS 3、 F12 画面キャプチャー、F3ショートカット、ASUS SPD Information
サポートDVD	ドライバー各種 ASUS ユーティリティ各種 マニュアル各種 アンチウイルスソフトウェア（OEM版）
サポートOS	Windows® XP Service Pack 3 (32bit) Windows® Vista* (32bit/64bit) Windows® 7 (32bit/64bit) Windows® 8 (32bit/64bit) • **Windows® Vista は、AMD第2世代A- Series APU (開発コード:Trinity) のみのサポートです。**
フォームファクター	microATXフォームファクター：22.6cm×18.3cm（8.9インチ×7.2インチ）

製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

製品の概要

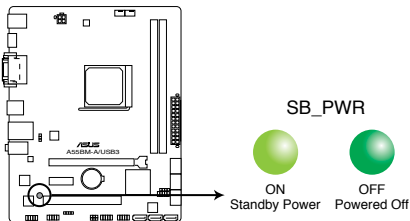
1

1.1 始める前に

マザーボードのパーツの取り付けや設定変更の際は、次の事項に注意してください。

- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- IC部分には絶対に手を触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置くか、コンポーネントに付属する袋に入れてください。
- パーツの取り付け、取り外しを行う前に、ATX電源ユニットのスイッチをOFF の位置にし、電源コードが電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、感電、故障の原因となります。

スタンバイ電源LED

本製品にはスタンバイ電源LEDが搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します（スリープモード、ソフトオフモードも含む）。マザーボードに各パーツの取り付け・取り外しを行う際は、システムをOFFにし、電源ケーブルを抜いてください。下のイラストは、LEDの場所を示しています。

A55BM-A/USB3 Onboard LED

1.2 マザーボードの概要

システム構築の際は、ご使用されるケースの仕様をご確認の上、本製品がご使用されるケースに対応していることをご確認ください。

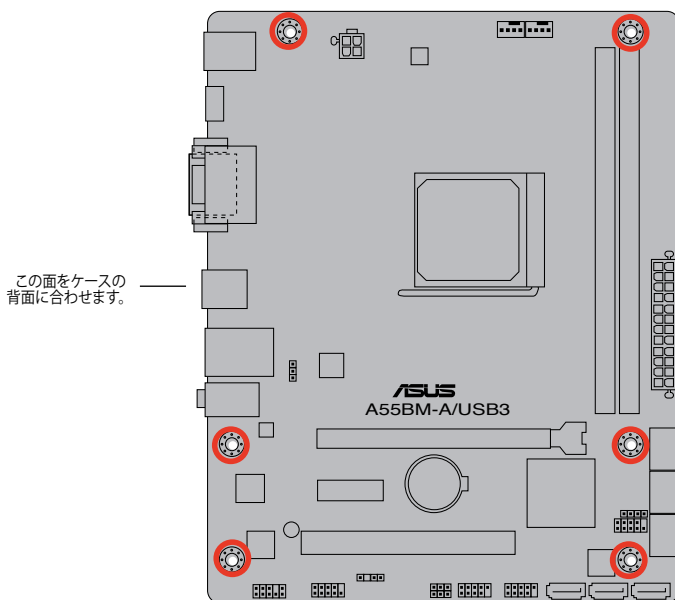
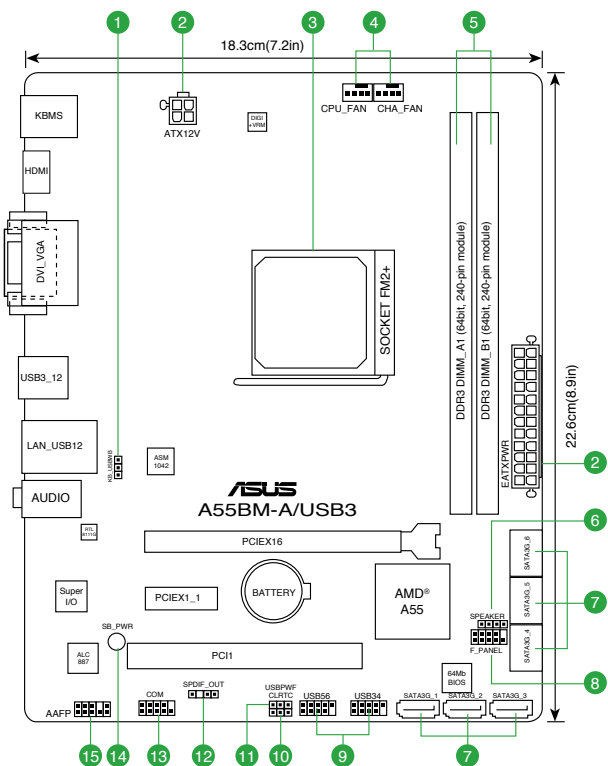
マザーボードの取り付けや取り外しを行う前に、必ず電源コードをコンセントから抜き、すべての接続コードを外した状態で行ってください。電源コードを接続したまま作業を行うと、ケガやマザーボード、コンポーネントの故障の原因となる恐れがあります。

1.2.1 設置方向

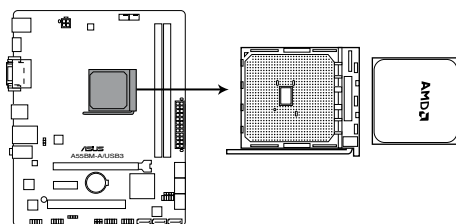
マザーボードのバックパネルをケースの背面部分に合わせ、マザーボードを正しい向きで取り付けます。

1.2.2 ネジ穴

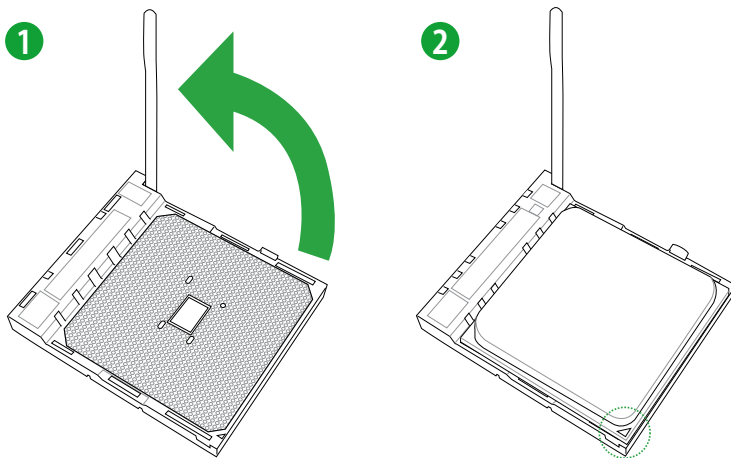
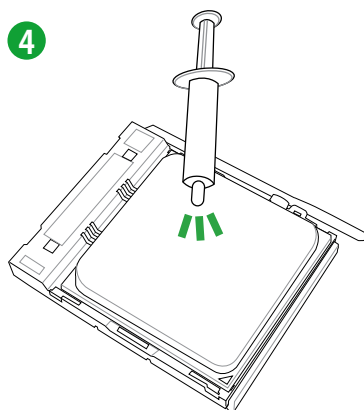
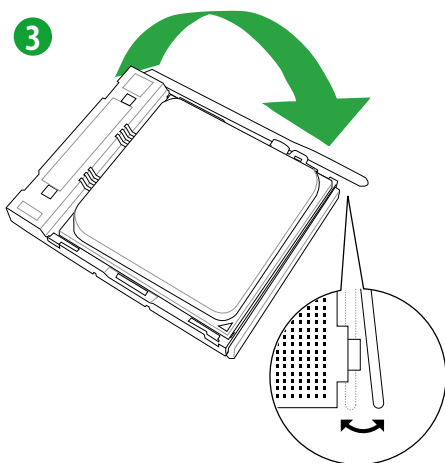
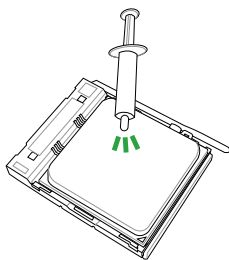
ネジ穴は6カ所あります。ネジ穴の位置を合せてマザーボードをケースに固定します。

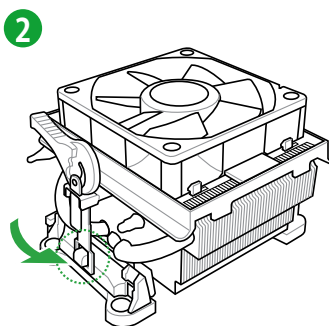
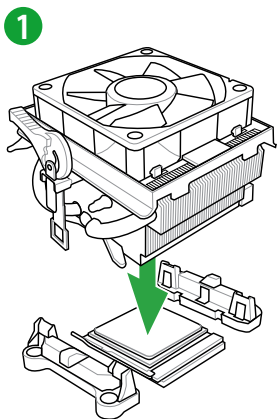
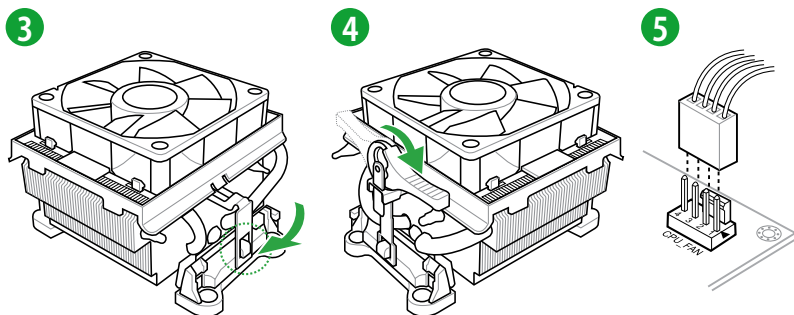
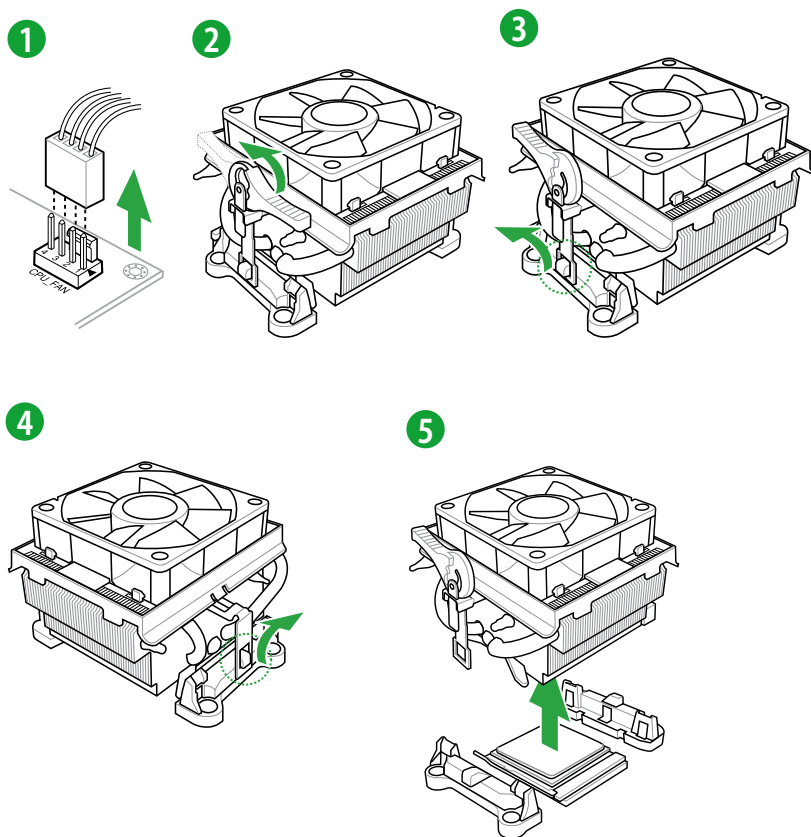
ネジをきつく締めすぎないでください。マザーボードの破損の原因となります。

1.2.3 マザーボードのレイアウト

コネクター/ジャンパ/スロット/スイッチ/LED	ページ
1. キーボード/USBデバイスウェイクアップジャンパ (3ピン KB_USBPWB)	1-12
2. ATX電源コネクター (24ピン EATXPWR、4ピン ATX12V)	1-16
3. プロセッサーソケット：Socket FM2+	1-4
4. プロセッサーファン、ケースファンコネクター (4ピン CPU_FAN、4ピン CHA_FAN)	1-15
5. DDR3メモリースロット	1-7
6. ビープスピーカーコネクター(4ピン SPEAKER)	1-18
7. SATA 3Gb/sコネクター (7ピン SATA3G_1-6)	1-17
8. システムパネルコネクター (10-1ピン F_PANEL)	1-18
9. USB 2.0 コネクター (10-1ピン USB34、USB56)	1-20
10. Clear CMOSジャンパ(3ピン CLRTC)	1-11
11. USBデバイスウェイクアップジャンパ(3ピン USBPWF)	1-12
12. デジタルオーディオコネクター(4-1ピン SPDIF_OUT)	1-19
13. シリアルポートコネクター(10-1ピン COM)	1-20
14. スタンバイ電源LED (SB_PWR)	1-1
15. フロントパネルオーディオコネクター(10-1ピン AAFP)	1-19

1.3 プロセッサー

本製品には、AMD A-Series / Athlon™プロセッサーに対応するSocket FM2+ が搭載されています。

A55BM-A/USB3 CPU socket FM2+

Socket FM2+に対応するプロセッサーをご使用ください。プロセッサーは取り付ける向きが決まっています。破損の原因となりますので、無理にはめ込もうとしないでください。

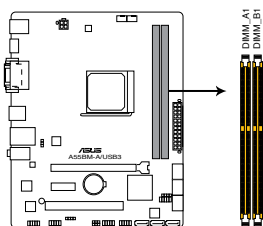
1.3.1 プロセッサーを取り付ける

1.3.2 プロセッサークーラーを取り付ける

プロセッサークーラーを取り付ける前に、必ずプロセッサーにサーマルグリス（シリコングリス）を塗布してください。プロセッサークーラーによってはサーマルグリスや熱伝導体シートなどが購入時から貼付されています。

プロセッサークーラーの取り付け手順

プロセッサークーラーの取り外し手順

1.4 システムメモリー

1.4.1 概要

本製品には、DDR3 メモリーに対応したメモリースロットが2基搭載されています。

DDR3メモリーはDDR2メモリーと同様の大きさですが、DDR2メモリースロットに誤って取り付けることを防ぐため、ノッチの位置は異なります。DDR3メモリーは電力消費を抑えて性能を向上させます。

次の図は、スロットの場所を示しています。

A55BM-A/USB3 240ピン DDR3 DIMM Slots

チャンネル	スロット
Channel A	DIMM_A1
Channel B	DIMM_B1

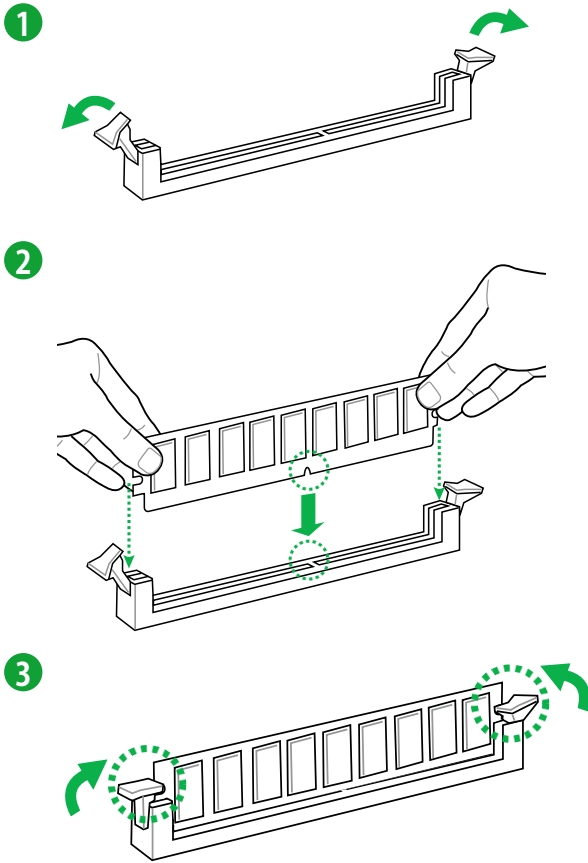
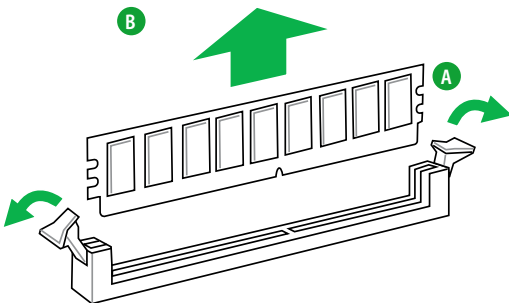
1.4.2　メモリー構成

1GB、2GB、4GB、8GB、16GB のDDR3 Non-ECC Unbufferedメモリーをメモリースロットに取り付けることができます。

- 容量の異なるメモリーを Channel A と Channel Bに取り付けることができます。異なる容量のメモリーをデュアルチャンネル構成で取り付けた場合、アクセス領域はメモリー容量の合計値が小さい方のチャンネルに合わせて割り当てられ、容量の大きなメモリーの超過分に関してはシングルチャンネル用に割り当てられます。
- 同じCASレイテンシを持つメモリーを取り付けてください。またメモリーは同じベンダーの同じ製造週のものを取り付けることをお勧めします。
- メモリーの割り当てに関する制限により、32bit Windows® OSでは 4 GB以上のシステムメモリーを取り付けても、OSが実際に利用可能な物理メモリーは4GB未満となります。メモリーリソースを効果的にご使用いただくため、次のいずれかのメモリー構成をお勧めします。
  - Windows® 32bit OSでは、4GB未満のシステムメモリー構成にする
  - 4 GB以上のシステムメモリー構成では、64bit Windows® OSをインストールする

  詳細はMicrosoft® のサポートサイトでご確認ください。
  http://support.microsoft.com/kb/929605/ja
- 本製品は512 Mbit（64MB）以下のチップで構成されたメモリーをサポートしていません。512 Mbit のメモリーチップを搭載したメモリーモジュールは動作保証致しかねます。（メモリーチップセットの容量はMegabit で表します。8 Megabit/Mb=1 Megabyte/MB
- 1つのスロットに16GBのメモリーを使用することで、最大32GBまでのメモリーをサポートします。

- デフォルト設定のメモリー動作周波数はメモリーのSPDにより異なります。デフォルト設定では、特定のメモリーはオーバークロックしてもメーカーが公表する値より低い値で動作する場合があります。メーカーが公表する値、またはそれ以上の周波数で動作させる場合はUEFI BIOS Utilityで手動設定を行ってください。
- すべてのスロットにメモリーモジュールを取り付ける場合やオーバークロックを行う場合は、安定した動作のために適切な冷却システムをご使用ください。
- 最新のQVL(推奨ベンダーリスト)は、オフィシャルサイト (www.asus.com) をご覧ください。

1.4.3 メモリーを取り付ける

メモリーを取り外す

1.5 拡張スロット

拡張カードを取り付ける前に、本項に記載してある内容をよくお読みください。

拡張カードの追加や取り外しを行う際は、電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。

1.5.1 拡張カードを取り付ける

手順

1. 拡張カードを取り付ける前に、拡張カードに付属するマニュアルをよく読み、拡張カードの使用に必要なハードウェアの設定を行ってください。
2. マザーボードをケースに取り付けている場合は、ケースのサイドパネルを開けます。
3. 拡張カードを取り付けるスロットのブラケットカバーを取り外します。ネジは後で使用するので、大切に保管してください。
4. 拡張カードの端子部分をスロットに合わせ、拡張カードがスロットに完全に固定されるまでしっかり挿し込みます。
5. 拡張カードのブラケット部をネジで固定します。
6. サイドパネルを取り付け、ケースを閉じます。

1.5.2 拡張カードを設定する

拡張カードを取り付けた後、ソフトウェアの設定を行い拡張カードを使用できるようにします。

1. システムを起動し、必要に応じてUEFI BIOSの設定を行います。
2. システム情報ツールなどを使用し、新しく追加された拡張カードにIRQ(割り込み要求)が割り当てられていることを確認します。
3. 拡張カード用のデバイスドライバーはソフトウェアをインストールします。

PCI カードを共有スロットに挿入する際は、ドライバーがIRQの共有をサポートすること、または、カードが IRQ 割り当てを必要としないことを確認してください。IRQを要求する2つのPCIグループが対立し、システムが不安定になりカードが動作しなくなることがあります。

1.5.3 PCI スロット

IEEE1394カード、USBカード等のPCI 規格準拠のカードをサポートしています。

1.5.4 PCI Express 2.0 x1 スロット

ネットワークカード、SCSI カード等のPCI Express 2.0 規格準拠のx1スロット対応拡張カードをサポートしています。

1.5.5 PCI Express 3.0 x16 スロット

ビデオカード等のPCI Express 3.0 規格準拠のx16スロットまでの拡張カードをサポートしています。

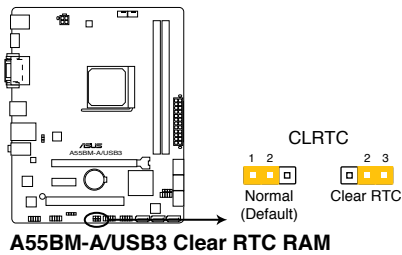
割り込み要求(IRQ)の割り当て

	A	B	C	D	E	F	G	H
PCIEX16	–	–	共有	–	–	–	–	–
PCIEX1_1	共有	–	–	–	–	–	–	–
PCI1	–	–	–	–	共有	–	–	–
Realtek LANコントローラー	–	–	共有	–	-	–	–	–
HDオーディオ	共有	–	–	–	–	–	–	–
SATAコントローラー	–	–	–	共有	–	–	–	–
On Chip USB EHCI 1/2/3	–	共有	–	–	–	–	–	–
On Chip USB OHCI 1/2/3/4	–	–	共有	–	–	–	–	–

1.6 ジャンパ

1. Clear CMOS ジャンパ (3ピン CLRTC)

このジャンパは、CMOSのリアルタイムクロック(RTC) RAMを消去するものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン型電池により行われています。

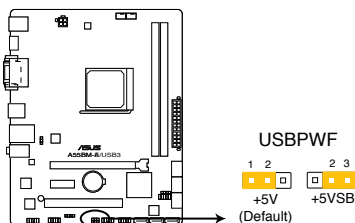
A55BM-A/USB3 Clear RTC RAM

CMOS RTC RAMを消去する手順

1. コンピューターの電源をOFFにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. ジャンパキャップをピン 1-2 (初期設定) からピン 2-3 に移動させます。5~10秒間そのままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
3. 電源コードを差し込み、コンピューターの電源をONにします。
4. 起動プロセスの間<Delete>を押し、UEFI BIOS Utilityを起動しデータを再入力します。

CMOS RTC RAMのデータを消去している場合を除き、CLRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。

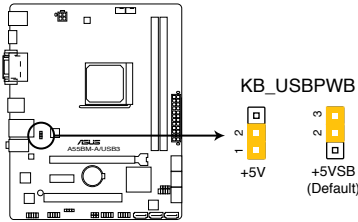
- 上記の手順を踏んでもCMOS RTC RAMを消去できない場合は、マザーボードのボタン電池を取り外し、ジャンパの設定を行ってください。なお、消去が終了した後は、電池を元に戻してください。
- オーバークロックによりシステムがハングアップした場合は、C.P.R. (CPU Parameter Recall) 機能をご利用いただけます。システムを停止して再起動すると、UEFI BIOSは自動的にパラメータ設定をデフォルト設定値にリセットします。

2. USBデバイスウェイクアップジャンパ (3ピン USBPWF)

オンボードUSBコネクターに接続されたUSBポートの給電方法を設定します。接続されたUSBデバイスを使用して、S1ステートからのウェイクアップを有効にするには、ジャンパをピン1-2(+5V)に設定します。S3/S4ステートからのウェイクアップを有効にするには、ジャンパをピン2-3(+5VSB)に設定します。

A55BM-A/USB3 USB device wake up

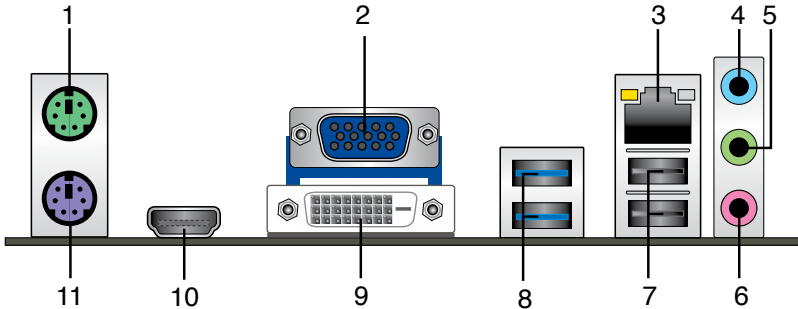
- USBデバイスによるウェイクアップ機能を使用するには、各USBポート用の+5VSBラインに500mAを供給可能な電源ユニットが必要です。
- 総電力消費量が電源供給能力(+5VSB)を上回らないようにご注意ください。

3. **キーボード/USBデバイスウェイクアップジャンパ(3ピン KB_USBPWB)**

PS/2ポートおよびバックパネルUSBポートの給電方法を設定します。接続されたPS/2デバイスおよびUSBデバイスを使用して、S1ステートからのウェイクアップを有効にするには、ジャンパをピン1-2(+5V)に設定します。S3/S4ステートからのウェイクアップを有効にするには、ジャンパをピン2-3(+5VSB)に設定します。本機能を使用するにはUEFI BIOS Utilityの設定が必要です。

A55BM-A/USB3 Keyboard and USB device wake up

- PS/2デバイスによるウェイクアップ機能を使用するには、+5VSBラインに1Aを供給可能な電源ユニットが必要です。
- USBデバイスによるウェイクアップ機能を使用するには、各USBポート用の+5VSBラインに500mAを供給可能な電源ユニットが必要です。

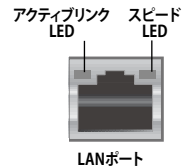
1.7 コネクター

1.7.1 バックパネルコネクター

1. **PS/2 マウスポート(グリーン):**PS/2マウスを接続します。
2. **VGA出力ポート:**VGAモニター等のVGA対応デバイスを接続します。
3. **LAN (RJ-45) ポート:**LANケーブル(RJ-45規格)を接続します。LANポートLEDの表示内容は次の表をご参照ください。

LANポートLED

アクティブリンク LED		スピードLED	
状態	説明	状態	説明
OFF	リンクなし	OFF	10 Mbps
オレンジ	リンク確立	オレンジ	100 Mbps
点滅	データ送受信中	グリーン	1 Gbps

アクティブリンク LED　スピード LED

LANポート

4.　**ライン入力ポート（ライトブルー）：**アナログオーディオソースを接続することで音声の入力/録音をすることができます。

5.　**ライン出力ポート（ライム）：**ヘッドホンやスピーカーなどのアナログ出力デバイスを接続します。4.1 / 5 .1 / 7.1 チャンネルのマルチチャンネルオーディオ出力の場合、このポートはフロントスピーカー出力となります。

6.　**マイクポート（ピンク）：**マイクなどの録音デバイスを接続します。

2.1 / 4.1 / 5.1 / 7.1 チャンネル構成時のオーディオポートの機能については、次のオーディオ構成表を参考にしてください。

オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2.1チャンネル	4.1チャンネル	5.1チャンネル	7.1チャンネル
ライトブルー（リアパネル）	ライン入力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力
ライム（リアパネル）	ライン出力	フロントスピーカー出力	フロントスピーカー出力	フロントスピーカー出力
ピンク（リアパネル）	マイク入力	マイク入力	バス/センター	バス/センター
フロントパネル	-	-	-	サイドスピーカー出力

7.1チャンネルオーディオ出力の構成には、フロントパネルにHDオーディオモジュールが搭載されたケースをご使用ください。

7.　**USB 2.0ポート1/2：**USB 2.0デバイスを接続することができます。

8.　**USB 3.0ポート1/2：**USB 3.0デバイスを接続することができます。

- USB 3.0 ポートではブートデバイスを使用することはできません。
- USB接続のキーボードやマウスを使用してオペレーティングシステムをインストールを行う場合は、USB 2.0 ポートにデバイスを接続することを推奨いたします。
- ASMedia® ASM1042 USB 3.0 ホストコントローラーの制御するUSB 3.0 ポートの性能を十分発揮するために、必ずUSB 3.0 ドライバーをインストールしてください。

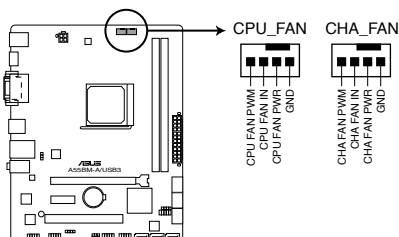
9.　**DVI-D出力ポート：**DVI-Dと互換性のあるデバイスを接続します。DVI-D信号をRGB信号に変換してCRTモニターに出力することはできません。また、DVI-DはDVI-I とは互換性がありません。また、HDCP互換ですので、HD DVD やBlu-ray ディスク等の保護コンテンツの再生も可能です。

10.　**HDMI出力ポート：**HDMIデバイスを接続します。著作権保護技術の 1 つである HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）にも対応していますので、HD DVD、Blu-ray、その他の著作権保護コンテンツの再生も可能です。

11.　**PS/2 キーボード (パープル)：**PS/2 キーボードを接続します。

1.7.2 内部コネクター

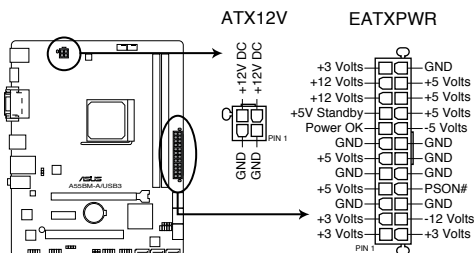
1. プロセッサーファン、ケースファンコネクター (4ピン CPU_FAN、4ピン CHA_FAN)

プロセッサークーラーなどの冷却ファンの電源ケーブルを接続します。接続する際は、電源ケーブルのグランドピン(GND)がコネクターのアースピン(GND)に接続されていることをご確認ください。

A55BM-A/USB3 Fan connectors

PCケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードコンポーネントが破損する恐れがあります。組み立ての際にはシステムの冷却ファン (吸/排気ファン) を必ず搭載してください。また、吸/排気ファン の電源をマザーボードから取得することで、エアフローをマザーボード側で効果的にコントロールすることができます。また、これはジャンパピンではありません。ファンコネクターにジャンパキャップを取り付けないでください。

- CPU_FANコネクターはファン電力2A(24W)までのプロセッサーファンをサポートしています。
- 本製品は4ピンPWM制御タイプのファンのみをサポートしています。3ピンDC制御タイプのファンを取り付けた場合、ファンは制御することができず常時フルスピードで動作します。

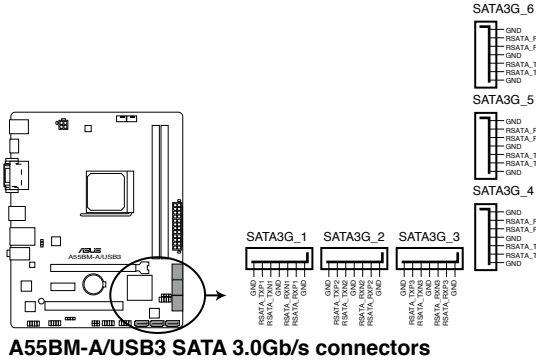
2. ATX電源コネクター (24ピン EATXPWR、4ピン ATX12V)

ATX電源プラグ用のコネクターです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。

A55BM-A/USB3 ATX power connectors

- システムの快適なご利用のために容量 300W以上のATX 12V バージョン2.0規格以降の電源ユニットを使用することをお勧めします。
- ATX12Vコネクターには必ずプロセッサー補助電源供給用の4ピンプラグを接続してください。4ピンプラグを接続しない場合システムは動作しません。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。
- システムに最低限必要な電源が分からない場合は、ASUSオフィシャルサイトの「**電源用ワット数計算機**」をご使用ください。
  http://support.asus.com/PowerSupplyCalculator/PSCalculator.aspx?SLanguage=ja-jp

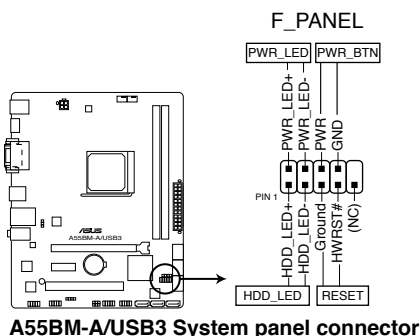
3. SATA 3Gb/sコネクター (7ピン SATA3G 1-6)

SATA 3Gb/s ケーブルを使用し、SATA記憶装置を接続します。AMD FCHが制御するコネクターに接続したSATA記憶装置を使用して、RAIDアレイ(0/1/10)またはJBODを構築することができます。

A55BM-A/USB3 SATA 3.0Gb/s connectors

- SATA動作モードはデフォルトで[**AHCI**]に設定されています。Windows® XPをご利用になる場合は、OSをインストールする前にSATAモードを[**IDE**]に変更する必要があります。
- RAIDアレイやJBODを構築する場合は、UEFI BIOS Utilityの「**OnChip SATA Type**」を[**RAID**]に設定してください。
- SATAポートのホットプラグ機能やNCQ (Native Command Queuing) は[**AHCI**] または [**RAID**] モードでのみ使用することができます。

4. システムパネルコネクター (10-1ピン F_PANEL)

このコネクターはPCケースに付属する各機能に対応しています。

A55BM-A/USB3 System panel connector

- **システム電源LED（2ピン PWR_LED）**

  システム電源LED用2ピンコネクターです。PCケース電源LEDケーブルを接続してください。システムの電源LEDはシステムの電源をONにすると点灯し、システムがスリープモードに入ると点滅します。

- **ハードディスクドライブアクティビティ LED（2ピン HDD_LED）**

  ハードディスクドライブアクティビティLED用2ピンコネクターです。ハードディスクドライブアクティビティLEDケーブルを接続してください。ハードディスクアクティビティLEDは、記憶装置がデータの読み書きを行っているときに点灯、または点滅します。

- **電源ボタン/ソフトオフボタン（2ピン PWR_BTN）**

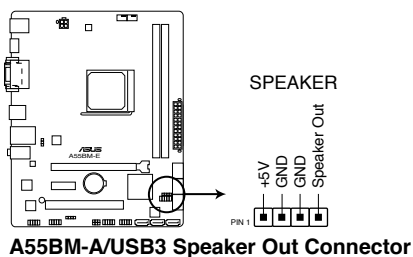
  システムの電源ボタン用2ピンコネクターです。電源ボタンを押すとシステムの電源がONになります。OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから４秒以内に離すと、システムはOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源スイッチを４秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にOFFになります。

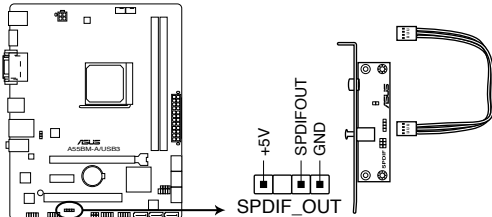
- **リセットボタン（2ピン RESET）**

  リセットボタン用2ピンコネクターです。システムの電源をOFFにせずにシステムを再起動します。

5. ビープスピーカーコネクター（4ピンSPEAKER）

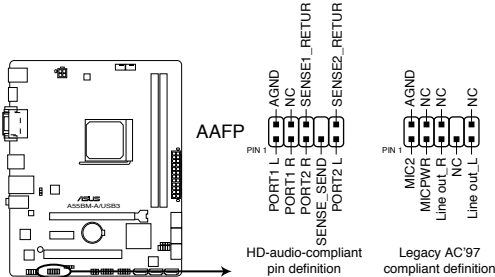
システム警告スピーカー用4ピンコネクターです。スピーカーはその鳴り方でシステムの不具合を報告し、警告を発します。

A55BM-A/USB3 Speaker Out Connector

6. デジタルオーディオコネクター (4-1ピン SPDIF_OUT)

S/PDIFポート追加用のコネクターです。S/PDIF出力モジュールを接続します。S/PDIF出力モジュールのケーブルをこのコネクターに接続し、PCケースの後方にあるスロットにモジュールを設置します。

A55BM-A/USB3 Digital audio connector

S/PDIF出力モジュール、S/PDIF出力モジュールケーブルは別途お買い求めください。

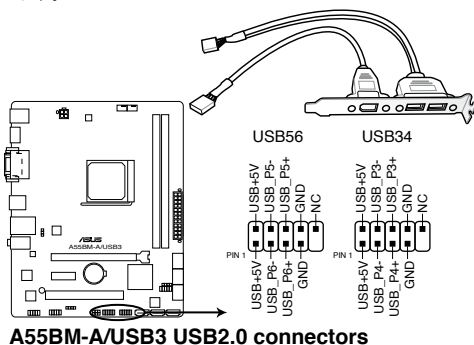
7. フロントパネルオーディオコネクター (10-1ピン AAFP)

PCケースのフロントパネルオーディオI/Oモジュール用コネクターで、HDオーディオ及びAC'97オーディオをサポートしています。オーディオ I/Oモジュールケーブルの一方をこのコネクターに接続します。

A55BM-A/USB3 Front panel audio connector

- HDオーディオ機能を最大限に活用するため、HD フロントパネルオーディオモジュールを接続することをお勧めします。
- HDフロントパネルオーディオモジュールを接続する場合は、UEFI BIOSで「**Front Panel Type**」の項目を [**HD**] に設定します。AC'97フロントパネルオーディオモジュールを接続する場合は、この項目を [**AC97**] に設定します。デフォルト設定は [**HD**] に設定されています。
- フロントパネルオーディオ I/Oモジュールは別途お買い求めください。

8. USB 2.0コネクター (10-1ピン USB34、USB56)

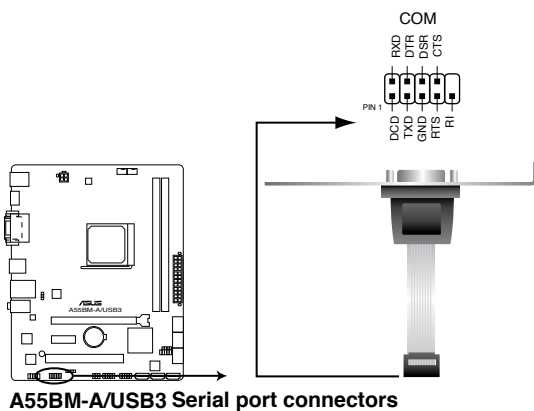
USB 2.0ポート用のコネクターです。USB 2.0モジュールのケーブルをこれらのコネクターに接続します。このコネクターは最大 480 Mbps の接続速度を持つUSB 2.0規格に準拠しています。

A55BM-A/USB3 USB2.0 connectors

IEEE 1394用ケーブルをUSBコネクターに接続しないでください。マザーボードが損傷する原因となります。

USB 2.0モジュールは別途お買い求めください。

9. シリアルポートコネクター (10-1ピン COM)

シリアルポートモジュールのケーブルを接続し、ブラケットをバックパネルの任意のスロットに設置します。

A55BM-A/USB3 Serial port connectors

シリアルポートモジュールは別途お買い求めください。

1.8 ソフトウェア

1.8.1 OSをインストールする

本製品はWindows® XP Service Pack 3 / Windows® Vista / Windows® 7 / Windows® 8 オペレーティングシステムをサポートしています。ハードウェアの機能を最大限に活用するために、OSは定期的にアップデートしてください。

- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。
- 操作方法や設定方法はご使用のオペレーティングシステムにより異なる場合があります。詳しい操作方法などは、ご利用のオペレーティングシステムマニュアルをご覧ください。
- Windows® Vista は、AMD第2世代A- Series APU (開発コード:Trinity) のみのサポートです。

1.8.2 サポートDVD情報

マザーボードに付属のサポートDVDには、マザーボードを利用するために必要なドライバー、アプリケーション、ユーティリティが収録されています。

サポートDVDの内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のデータは、ASUSオフィシャルサイトをご覧ください。(http://www.asus.co.jp)

サポートDVDを実行する

サポートDVDを光学ドライブに挿入します。OSの自動実行機能(オートラン)が有効になっていれば、メニューウィンドウが自動的に表示されます。メニュータブを選択し、インストールする項目を選択してください。

本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

自動実行が有効になっていない場合は、サポートDVDの BINフォルダーからASSETUP.EXE を選択してください。ASSETUP.EXEを起動することで、メニューウィンドウが表示されます。

UEFI BIOS設定

2

2.1 UEFI BIOS更新

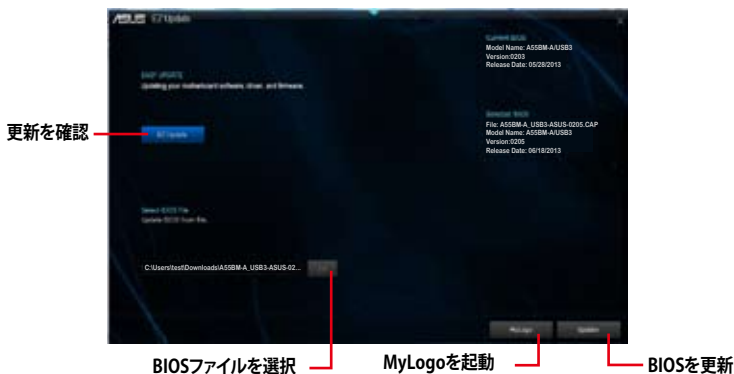
ASUSオフィシャルサイトでは最新のUEFI BIOSを公開しています。UEFI BIOSの更新により、システムの安定性、互換性、パフォーマンスの向上が期待できます。ただし、UEFI BIOSの更新には常にリスクが伴います。使用上、現在の状態で特に問題がない場合は**UEFI BIOSの更新を行わないでください**。不適切な更新はシステムが起動しない、または不安定になるといった問題の原因となります。UEFI BIOSの更新が必要な場合は、本書に記載の指示に従い、慎重に行ってください。

最新のBIOSファイルはASUSオフィシャルサイトからダウンロードすることができます。（http://www.asus.co.jp）

2.1.1 EZ Update

EZ Update は、あなたのシステム更新をサポートします。このユーティリティを使用することで、ご使用のマザーボードに対応した、ドライバー、ソフトウェア、UEFI BIOSの更新情報を確認し、簡単にアップデートすることができます。また、保存されたBIOSファイルを使用して、ファイルから直接UEFI BIOSを更新したり、起動画面を変更することも可能です。

EZ Updateを起動する

AI Suite III のメインメニューバーを表示し、「**EZ Update**」をクリックします。

- EZ Updateを使用するには、インターネット接続が必要です。
- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。

2.1.2 ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ Flash 2 Utility は、OSベースのユーティリティを使うことなく、UEFI BIOSを短時間で更新することができます。

このユーティリティをご利用になる前に、最新のBIOSファイルをASUSのオフィシャルサイトからダウンロードしてください。(http://www.asus.co.jp)

EZ Flash 2 を使用してUEFI BIOSを更新する

1. 最新のBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリーをシステムにセットします。
2. UEFI BIOS Utility のAdvanced Mode を起動し、**Tool** メニューの「**ASUS EZ Flash 2 Utility**」を選択します。
3. キーボードまたはマウスを使用して、Driver Infoフィールドの最新のBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリードライブを選択します。操作するフィールドはキーボードの<Tab>で切り替えることができます。
4. キーボードまたはマウスを使用して、Folder InfoフィールドのBIOSファイルを選択し読み込みます。
5. 読み込まれたBIOSファイルが正しいことを確認し、UEFI BIOSの更新を開始します。
6. UEFI BIOSの更新が完了したら、「**OK**」ボタンを押してシステムを再起動します。

- FAT32/16 ファイルシステムをもつ、シングルパーティションのUSBフラッシュメモリーのみサポートします。
- UEFI BIOS更新後はシステムの互換性/安定性の観点から、必ずUEFI BIOSのデフォルト設定をロードしてください。
- UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

2.1.3 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 は UEFI BIOSの自動復旧ツールで、UEFI BIOSの更新時に障害を起こした場合や破損したBIOSファイルを復旧します。破損したBIOSファイルはサポートDVD、またはBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリーで更新することができます。

- 本機能を使用する前に、リムーバブルデバイスに保存されたBIOSファイルのファイル名を「**A55BMAU3.CAP**」に変更してください。
- サポートDVDに収録のBIOSファイルは最新のものではない場合もあります。最新バージョンのUEFI BIOSはASUSオフィシャルサイトで公開しております。USBフラッシュメモリーにダウンロードしてご使用ください。(http://www.asus.co.jp)

UEFI BIOSを復旧する

手順

1. システムの電源をONにします。
2. BIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリー/サポートDVDをシステムにセットします。
3. BIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリー/サポートDVDの検出が始まります。検出されると、BIOSファイルを読み込み、ASUS EZ Flash 2 が自動的に起動します。
4. UEFI BIOS Utility でデフォルト設定をロードするように指示が表示されます。システムの互換性/安定性の観点から、UEFI BIOSのデフォルト設定をロードすることをお勧めします。

UEFI BIOSの更新や復旧中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。
UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。
UEFI BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

2.1.4 ASUS BIOS Updater

ASUS BIOS Updater は、DOS環境でUEFI BIOSファイルを更新するツールです。

本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。

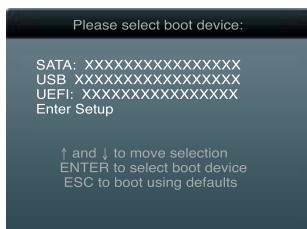
更新の前に

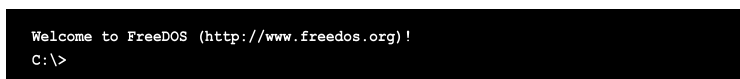
1. サポートDVDとFAT32/16 ファイルシステムをもつ、シングルパーティションのUSBフラッシュメモリーを手元に準備します。
2. 最新のBIOSファイルとBIOS Updater をASUSオフィシャルサイトからダウンロードし、USBフラッシュメモリーに保存します。（http://www.asus.co.jp）

- DOS環境ではNTFSはサポートしません。BIOSファイルとBIOS Updater を NTFSフォーマットの記憶装置またはUSBフラッシュメモリーに保存しないでください。
- BIOSファイルのサイズはフロッピーディスクの上限である1.44MB を超えるため、フロッピーディスクに保存することはできません。
- DOS環境では、マウス操作を行うことはできません。キーボードをご使用ください。

3. コンピューターをOFFにし、すべてのSATA記憶装置を取り外します。（推奨）

DOS環境でシステムを起動する

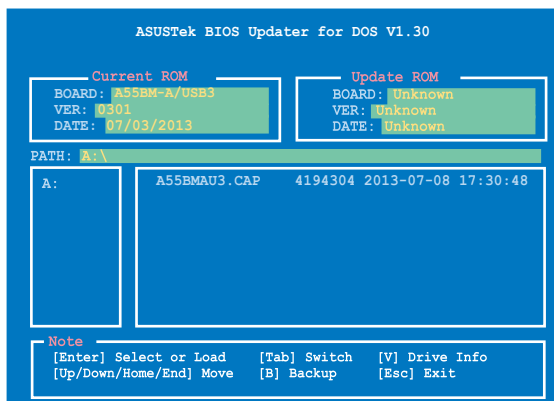
1. 最新のBIOSファイルとBIOS Updater を保存したUSBフラッシュメモリーをUSBポートに接続します。
2. コンピューターを起動し、POST中に <F8> を押します。続いてBoot Device Select Menu が表示されたらサポートDVDを光学ドライブに挿入し、カーソルキーで光学ドライブを選択し<Enter>を押します。

3. Make Disk メニューが表示されたら、項目の番号を押し「**FreeDOS command prompt**」の項目を選択します。
4. FreeDOSプロンプトで「**d:**」と入力し、<Enter> を押してドライブをDrive C(光学ドライブ)からDrive D(USBフラッシュメモリー)に切り替えます。SATA記憶装置を接続している場合ドライブパスは異なります。

```
Welcome to FreeDOS (http://www.freedos.org)!
C:\>
```

UEFI BIOSを更新する

手順

1. FreeDOSプロンプトで、「**bupdater /pc /g**」と入力し、<Enter>を押します。

```
D:\>bupdater /pc /g
```

2. 次のようなBIOS Updater 画面が表示されます。

3. <Tab>でフィールドを切り替え、BIOSファイルの保存されたUSBフラッシュメモリードライブを選択し<Enter>を押します。次に、カーソルキーで更新に使用するBIOSファイルを選択して<Enter>を押します。BIOS Updater は選択したBIOSファイルをチェックし、次のような確認画面が表示されます。

4. 更新を実行するには「**Yes**」を選択し<Enter>を押します。UEFI BIOSの更新が完了したら<ESC>を押してBIOS Updater を閉じます。続いてコンピューターを再起動します。

UEFI BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

- BIOS Updater バージョン1.30 以降では、更新が終了すると自動的にDOSプロンプトに戻ります。
- システムの互換性/安定性の観点から、更新後は必ずデフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定のロードは「**Exit**」の「**Load Optimized Defaults**」の項目で実行します。
- SATA記憶装置を取り外した場合は、BIOSファイル更新後にすべてのSATA記憶装置を接続してください。
- サポートDVDからの起動時、画面に「**Press Enter to boot from the DVD/CD**」と表示されたら、5秒以内に<Enter>を押してください。5秒を経過するとシステムは通常の起動デバイスからロードを開始します。
- コマンドはBIOS Updater のバージョンにより異なる場合があります。詳細はASUSオフィシャルサイトからダウンロードしたBIOS Updater ファイル内のテキストファイルをご確認ください。

2.2 UEFI BIOS Utility

UEFI BIOS Utility ではUEFI BIOSの更新やパラメーターの設定が可能です。UEFI BIOS Utility の画面にはナビゲーションキーとヘルプが表示されます。

システム起動時にUEFI BIOS Utilityを起動する

手順:

- 起動時の自己診断テスト(POST)の間に<F2>または<Delete>を押します。<F2>または<Delete>を押さない場合は、POSTがそのまま実行されます。

POST後にUEFI BIOS Utilityを起動する

手順

- <Ctrl + Alt + Delete> を同時に押してシステムを再起動し、POST実行中に<F2>または<Delete>を押します。
- ケース上のリセットボタンを押してシステムを再起動し、POST実行中に<F2>または<Delete>を押します。
- 電源ボタンを押してシステムの電源をOFFにした後、システムをONにしPOST実行中に<F2>または<Delete>を押します。ただし、これは上記2つの方法が失敗した場合の最後の手段として行ってください。

OSの動作中に電源ボタンやリセットボタン、<**Ctrl + Alt + Delete**> 等でリセットを行うと、データロスやOSの不具合の原因となります。OSを閉じる際は、通常の方法でシステムをシャットダウンすることをお勧めします。

- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。
- サポートDVDに収録のBIOSファイルは最新のものではない場合があります。最新バージョンのUEFI BIOSはASUSオフィシャルサイトで公開しております。USBフラッシュメモリーにダウンロードしてご使用ください。(http://www.asus.co.jp)
- マウスでUEFI BIOS Utilityの操作を行う場合は、USBマウスをマザーボードに接続してからシステムの電源をONにしてください。
- 設定を変更した後システムが不安定になる場合は、デフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定に戻すには、終了メニューの「**Load Optimized Defaults**」を選択します。
- 設定を変更した後システムが起動しなくなった場合は、CMOSクリアを実行し、マザーボードのリセットを行ってください。Clear CMOSジャンパの位置は「**1.6 ジャンパ**」をご参照ください。
- UEFI BIOS Utility はBluetoothデバイスをサポートしません。
- UEFI BIOS Utility 各項目の名称やデフォルト設定値は、ご利用のモデルやUEFI BIOSバージョンにより異なる場合があります。予めご了承ください。

メニュー画面

UEFI BIOS Utilityには、**EZ Mode** と**Advanced Mode** の2つのモードがあります。モードの切り替えは、通常「**終了メニュー**」から行うことができます。EZ ModeからAdvanced Mode へ切り替えるには、「**Exit/Advanced Mode**」をボタンをクリックし、「**Advanced Mode**」を選択するか、<**F7**>を押します。

EZ Mode

デフォルト設定では、UEFI BIOS Utilityを起動すると、EZ Mode 画面が表示されます。EZ Mode では、基本的なシステム情報の一覧が表示され、表示言語やシステムパフォーマンスモード、ブートデバイスの優先順位などが設定できます。Advanced Mode へ切り替えるには、「**Exit/Advanced Mode**」をボタンをクリックし、「**Advanced Mode**」を選択するか<F7>を押します。

UEFI BIOS Utility起動時に表示する画面は変更することができます。

温度/電圧/ファンスピード表示

表示言語選択

終了メニュー

Advanced Mode

ショートカット

ブートデバイス優先順位

SATA情報

Normal モード

ブートデバイス選択

デフォルトロード

システムパフォーマンス

Power saving モード

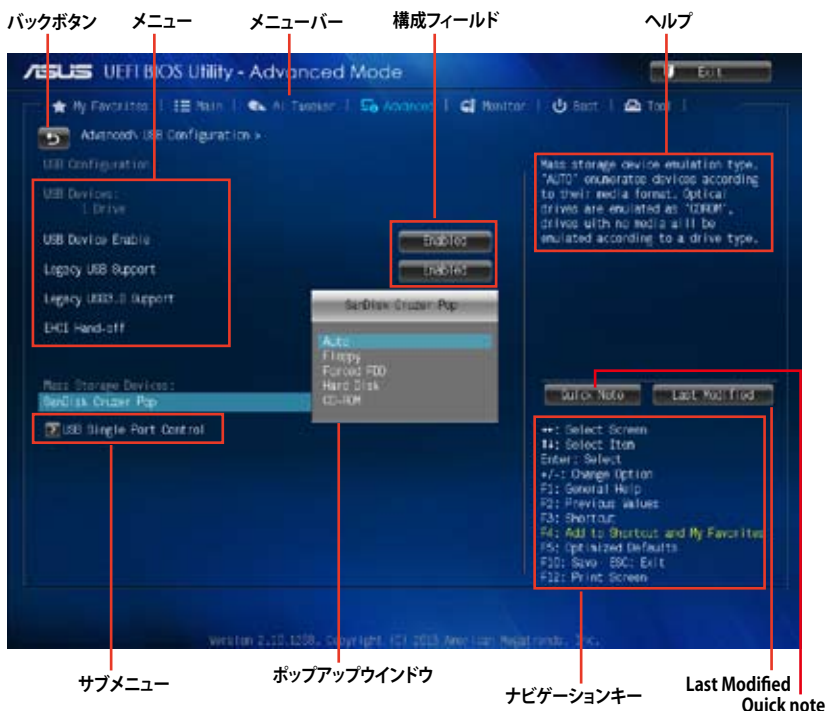
- ブートデバイスの優先順位のオプションは、取り付けたデバイスにより異なります。
- 「**Boot Menu(F8)**」ボタンは、ブートデバイスがシステムに取り付けられている場合のみ利用可能です。

Advanced Mode

Advanced Mode は上級者向けのモードで、各種詳細設定が可能です。下の図はAdvanced Mode の表示内容の一例です。各設定項目の詳細は、本マニュアル以降の記載をご参照ください。

Advanced ModeからEZ Mode へ切り替えるには、「**Exit**」をボタンをクリックし、「**ASUS EZ Mode**」を選択します。

バックボタン　**メニュー**　**メニューバー**　**構成フィールド**　**ヘルプ**

サブメニュー　**ポップアップウインドウ**　**ナビゲーションキー**　**Last Modified**　**Quick note**

メニューバー

画面上部のメニューバーには次の項目があり、主な設定内容は以下のとおりです。

My Favorites	登録したお気に入り項目
Main	基本システム設定
Ai Tweaker	オーバークロック関連
Advanced	拡張システム設定
Monitor	システム温度/電力状態の表示、およびファンの設定
Boot	システム起動関連
Tool	独自機能
Exit	終了メニュー、及びデフォルト設定のロード

2.3　　お気に入り

頻繁に使用する項目をお気に入りとして登録することで、画面の切り替えなどの面倒な操作をせずに一画面で各種設定を変更することができます。

お気に入り項目を追加する

手順

1. キーボードでお気に入りに追加したい項目を選択します。マウスを使用する場合は、お気に入りに追加したい項目の上にカーソルを移動します。
2. キーボードで選択した項目をお気に入りに追加するには<F4>を、マウスでお気に入りに追加するには項目を右クリックし、「**Add to MyFavorite page**」を選択します。

次の項目はお気に入りに追加することはできません:

- サブメニューを含む項目
- ユーザー管理項目(システム言語や起動デバイス優先順位など)
- ユーザー設定項目(システム日付や時間など)

2.4　メインメニュー

UEFI BIOS UtilityのAdvanced Mode を起動すると、まずメインメニュー画面が表示されます。

メインメニューでは基本的なシステム情報が表示され、システムの日付、時間、言語、セキュリティの設定が可能です。

- パスワードを忘れた場合、CMOSクリアを実行しパスワードを削除します。Clear CMOS ジャンパの位置はセクション「**1.6 ジャンパ**」をご参照ください。
- パスワードを削除すると、画面上の「**Administrator**」または「**User Password**」の項目にはデフォルト設定の「**Not Installed**」と表示されます。パスワードを再び設定すると、「**Installed**」と表示されます。

2.5 Ai Tweakerメニュー

オーバークロックに関連する設定を行います。

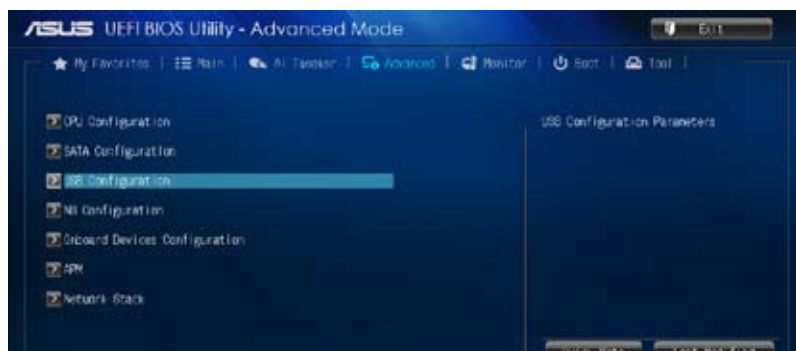
Ai Tweaker メニューで設定値を変更する際はご注意ください。不正な値を設定するとシステム誤作動の原因となります。

このセクションの設定オプションは取り付けたプロセッサーとメモリーにより異なります。

画面をスクロールすることですべての項目を表示することができます。

2.6 アドバンスドメニュー

プロセッサー、FCH、オンボードデバイスなどの詳細設定の変更ができます。

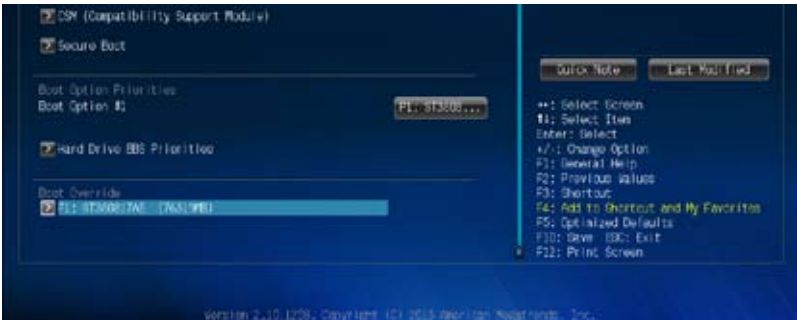
アドバンスドメニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。設定の変更は十分にご注意ください。

2.7 モニターメニュー

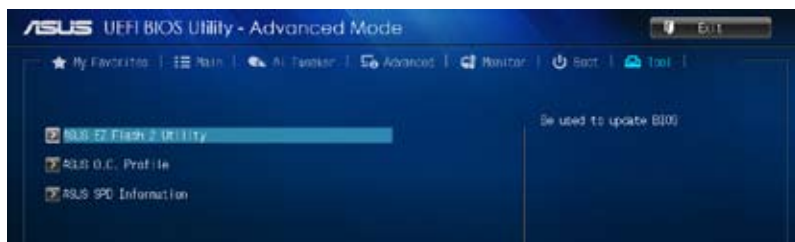
プロセッサー温度/電源の状態が表示されます。また、ファンの各種設定変更が可能です。

画面をスクロールすることですべての項目を表示することができます。

2.8 ブートメニュー

システムブートに関する設定をします。

画面をスクロールすることですべての項目を表示することができます。

2.9 ツールメニュー

ASUS独自機能の設定をします。マウスで項目を選択するか、キーボードのカーソルキーで項目を選択し、<Enter>を押してサブメニューを表示させることができます。

2.10 終了メニュー

設定の保存や取り消しのほか、デフォルト設定の読み込みを行います。終了メニューから **EZ Mode** を起動することができます。

付録

3

ご注意

Federal Communications Commission Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

IC: Canadian Compliance Statement

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications. This device complies with RSS 210 of Industry Canada. This Class B device meets all the requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

This device complies with Industry Canada license exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Cut appareil numérique de la Classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada. Cet appareil numérique de la Classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Cet appareil est conforme aux normes CNR exemptes de licence d'Industrie Canada. Le fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes :

(1) cet appareil ne doit pas provoquer d'interférences et

(2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris celles susceptibles de provoquer un fonctionnement non souhaité de l'appareil.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

VCCI: Japan Compliance Statement

VCCI Class B Statement

警告 VCCI準拠クラスB機器（日本）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

KC: Korea Warning Statement

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)
이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

*당해 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所:	15 Li-Te Road, Beitou, Taipei, Taiwan 11259
電話(代表):	+886-2-2894-3447
ファックス(代表):	+886-2-2890-7798
電子メール(代表):	info@asus.com.tw
Webサイト:	www.asus.com.tw

テクニカルサポート

電話:	+86-21-3842-9911
オンラインサポート:	support.asus.com

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所:	800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話:	+1-510-739-3777
ファックス:	+1-510-608-4555
Webサイト:	http://usa.asus.com

テクニカルサポート

電話:	+1-812-282-2787
サポートファックス:	+1-812-284-0883
オンラインサポート:	support.asus.com

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ・オーストリア)

住所:	Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany
電話:	+49-2102-95990
ファックス:	+49-2102-959911
Webサイト:	www.asus.de
オンラインコンタクト:	www.asus.de/sales

テクニカルサポート

電話:	+49-1805-010923*
サポートファックス:	+49-2102-9599-11*
オンラインサポート:	support.asus.com

* ドイツ国内の固定電話からは0.14ユーロ/分、携帯電話からは 0.42ユーロ/分の通話料がかかります。

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2. 1077(a)

Responsible Party Name: **Asus Computer International**

Address: **800 Corporate Way, Fremont, CA 94539.**

Phone/Fax No: **(510)739-3777/(510)608-4555**

hereby declares that the product

Product Name : Motherboard

Model Number : A 5 5 BM - A /USB3

Conforms to the following specifications:

☒ FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : **Steve Chang / President**

Signature :

Date : **Jul. 17, 2013**

Ver. 120601

EC Declaration of Conformity

We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address, City:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	**Motherboard**
Model name :	**A55BM-A/USB3**

conform with the essential requirements of the following directives:

☒**2004/108/EC-EMC Directive**

☒ EN 55022:2010	☒ EN 55024:2010
☒ EN 61000-3-2:2006+A2:2009	☒ EN 61000-3-3:2008
☐ EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	☐ EN 55020:2007+A11:2011

☐**1999/5/EC-R &TTE Directive**

☐ EN 300 328 V1.7.1(2006-10)	☐ EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
☐ EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	☐ EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
☐ EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	☐ EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
☐ EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	☐ EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
☐ EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	☐ EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
☐ EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	☐ EN 301 489-17 V2.1.1(2009-05)
☐ EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	☐ EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
☐ EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
☐ EN 302 623 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
☐ EN 50360:2001	☐ EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
☐ EN 62479:2010	☐ EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
☐ EN 50385:2002	☐ EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
☐ EN 62311:2008	

☒**2006/95/EC-LVD Directive**

☒ EN 60950-1 / A12:2011	☐ EN 60065:2002 / A12:2011

☐**2009/125/EC-ErP Directive**

☐ Regulation (EC) No. 1275/2008	☐ Regulation (EC) No. 278/2009
☐ Regulation (EC) No. 642/2009	

☒**2011/65/EU-RoHS Directive**

Ver. 130208

☒**CE marking**

(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Declaration Date: 17/07/2013

Year to begin affixing CE marking:2013

Signature :